

高齢者虐待発見チェックリスト（案）

虐待が疑われる場合の『サイン』として、以下のものがあります。複数のものにあてはまると、疑いの度合いはより濃くなってきます。これらはあくまで例示ですので、この他にも様々な『サイン』があることを認識しておいてください。

《身体的虐待のサイン》

| チェック欄 | サイン例 |
|-------|-----------------------------------|
| | 身体に小さなキズが頻繁にみられる。 |
| | 太腿の内側や上腕部の内側、背中等にキズやみみずばれがみられる。 |
| | 回復状態が様々な段階のキズ、あざ等がある。 |
| | 頭、顔、頭皮等にキズがある。 |
| | 臀部や手のひら、背中等に火傷や火傷跡がある。 |
| | 急におびえたり、恐ろしがったりする。 |
| | 「怖いから家にいたくない」等の訴えがある。 |
| | キズやあざの説明のつじつまが合わない。 |
| | 主治医や保健、福祉の担当者に話すことや援助を受けることに躊躇する。 |
| | 主治医や保健、福祉の担当者に話す内容が変化し、つじつまがあわない。 |

《心理的虐待のサイン》

| | |
|--|---------------------------------|
| | かきむしり、噛み付き、ゆすり等がみられる。 |
| | 不規則な睡眠（悪夢、眠ることへの恐怖、過度の睡眠等）を訴える。 |
| | 身体を萎縮させる。 |
| | おびえる、わめく、泣く、叫ぶなどの症状がみられる。 |
| | 食欲の変化が激しく、摂食障害（過食、拒食）がみられる。 |
| | 自傷行為がみられる。 |
| | 無力感、あきらめ、投げやりな様子になる。 |
| | 体重が不自然に増えたり、減ったりする。 |

《性的虐待のサイン》

| | |
|--|-----------------------------------|
| | 不自然な歩行や座位を保つことが困難になる。 |
| | 肛門や性器からの出血やキズがみられる。 |
| | 生殖器の痛み、かゆみを訴える。 |
| | 急に怯えたり、恐ろしがったりする。 |
| | ひと目を避けるようになり、多くの時間を一人で過ごすことが増える。 |
| | 主治医や保健、福祉の担当者に話すことや援助を受けることに躊躇する。 |
| | 睡眠障害がある。 |
| | 通常の生活行動に不自然な変化がみられる。 |

《経済的虐待のサイン》

| | |
|--|---------------------------------------|
| | 年金や財産収入等があることは明白なのににもかかわらず、お金がないと訴える。 |
| | 自由に使えるお金がないと訴える。 |
| | 経済的に困っていないのに、利用負担のあるサービスを利用したがない。 |
| | お金があるのにサービスの利用料や生活費の支払いができない。 |
| | 資産の保有状況と衣食住等生活状況との落差が激しくなる。 |
| | 預貯金が知らないうちに引き出された、通帳がとられたと訴える。 |

《ネグレクト（介護等日常生活上の世話の放棄、拒否、怠慢）のサイン（自己放任も含む）》

| | |
|--|-----------------------------------|
| | 居住部屋、住居が極めて非衛生的になっている、また異臭を放っている。 |
| | 部屋に衣類やおむつ等が散乱している。 |
| | 寝具や衣服が汚れたままの場合が多くなる。 |
| | 汚れたままの下着を身につけるようになる。 |
| | かなりのじょくそう（褥創）ができてきている。 |
| | 身体からかなりの異臭がするようになってきている。 |
| | 適度な食事を準備されていない。 |
| | 不自然に空腹を訴える場面が増えてきている。 |
| | 栄養失調の状態にある。 |
| | 疾患の症状が明白にもかかわらず、医師の診断を受けていない。 |

《セルフネグレクト（自己放任）のサイン》

| | |
|--|--|
| | 昼間でも雨戸が閉まっている。 |
| | 電気、ガス、水道が止められていたり、新聞、テレビの受信料、家賃等の支払いを滞納している。 |
| | 配食サービス等の食事がとられていない。 |
| | 薬や届けた物が放置されている。 |
| | ものごとや自分の周囲に関して、極度に無関心になる。 |
| | 何を聞いても「いいよ、いいよ」と言って遠慮をし、あきらめの態度がみられる。 |
| | 室内や住居の外にゴミがあふれていたり、異臭がしたり、虫が湧いている状態である。 |

《養護者の態度にみられるサイン》

| | |
|--|--|
| | 高齢者に対して冷淡な態度や無関心さがみられる。 |
| | 高齢者の世話や介護に対する拒否的な発言がしばしばみられる。 |
| | 他人の助言を聞き入れず、不適切な介護方法へのこだわりがみられる。 |
| | 高齢者の健康や疾患に関心がなく、医師への受診や入院の勧めを拒否する。 |
| | 高齢者に対して過度に乱暴な口のきき方をする。 |
| | 経済的に余裕があるように見えるのに、高齢者に対してお金をかけようとしめない。 |
| | 保健、福祉の担当者とうの嫌うようになる。 |

《地域からのサイン》

| | |
|--|--|
| | 自宅から高齢者や介護者・家族の怒鳴り声や悲鳴・うめき声、物が投げられる音が聞こえる。 |
| | 庭や家屋の手入れがされていない、または放置の様相（草が生い茂る、壁のペンキがはげている、ゴミが捨てられている）を示している。 |
| | 郵便受けや玄関先等が、1週間前の手紙や新聞で一杯になっていたり、電気メーターがまわっていない。 |
| | 気候や天気が悪くても、高齢者が長時間外にいる姿がしばしばみられる。 |
| | 家族と同居している高齢者が、コンビニやスーパー等で、一人分のお弁当等を頻繁に買っている。 |
| | 近所づきあいがなく、訪問しても高齢者に会えない、または嫌がられる。 |
| | 高齢者が道路に座り込んでいたり、徘徊している姿がみられる。 |

（参考）「東京都高齢者虐待対応マニュアル」（東京都）より